

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



501

 ☒ room [ルーム] 発音注意

名

① 部屋

② 余地、場所

【②の意味では a をつけず、複数形にもしない】

a large [small] **room** 『広い[せまい]部屋』a living **room** 『居間』Emi is in her **room** now.

『メグは今彼女の部屋にいます。』

My house has five **rooms**.= There are five **rooms** in my house.

『私の家には部屋が5つあります。』

There is no **room** to sit. 『座る場所がありません。』

※ to sit は不定詞の形容詞用法「～するための」

502

 ☒ news [ニュース] 発音注意

名

ニュース、知らせ【a をつけず、複数形にもしない】

※ **news** は東西南北の頭文字からできた語で、単数扱い。a **news** program 『ニュース番組』

※ この a は program につく冠詞

the seven o'clock **news** 『7時のニュース』I'm glad to hear the **news**.

『私はその知らせを聞いてうれしい。』

Did you see the seven o'clock **news**?

『あなたは7時のニュースを見ましたか?』

That's [It's] **news** to me. 『それは私には初耳です。』No **news** is good **news**.

『便りのないのは良い便り。』【ことわざ】

 ☆ **news** の語尾の s は複数形の s ではないことに注意。また、**news** は 1 つ、2 つ … とは数えられない不可算名詞なので、a piece of **news**, two pieces of **news**, … のように数える。→ 【単語帳 No. 828】

503

☒ song [ソ(ー)ング]

名

歌、歌うこと、鳥のさえずり

関連語: sing (歌う) → 【単語帳 No. 115】

sing a **song** [songs] 『歌を歌う』a popular [pop] **song**

『ポップ音楽、ポップス、歌謡曲』

the **song** of a bird 『鳥のさえずり』Let's sing a **song** together. 『いっしょに歌を歌いましょう。』

→ 【単語帳 No. 520 … together】

I like to sing a **song** [songs]. 『私は歌うのが好きです。』= I like singing a **song** [songs].

※ 上の文の to sing は不定詞の名詞用法、下の文の singing は動名詞。

We listened to English **songs**.

『私たちは英語の歌を聞きました。』

504

☒ team [ティーム]

名

チーム、組

発音注意

※ 全体を1つと考えるときは単数扱いになる。

Ken is on the baseball **team**. 『ケン野球チームに入っています。』

= Ken is in the baseball club. 『ケン野球部に入っています。』

※ **team** のときには on を、club のときには in を使う。→ 【No. 470 … club】Our **team** won the game. 『私たちのチームはその試合に勝ちました。』

※ won [ワン] は win の過去形 → 【単語帳 No. 672】

505

 ☒ smile [スマイル] 発音注意

動

ほほえむ

名

ほほえみ

活用: smiled [スマイルド]

- smiled - smiling

3単現形: smiles [スマイルズ]

smile at ~ 『～にほほえみかける』with a **smile** 『ほほえんで』Tom is **smiling**. 『トムはほほえんでいます。』Emi **smiled** at me. 『エミは私にほほえみかけました。』The girl spoke [talked] to me with a **smile**.

『その女の子はほほえみながら私に話しかけてきました。』

☆ **smile** … 声を立てずにっこりほほえむ。

laugh … 声を出して笑う。「あざ笑う」の意味にもなる。

→ 【単語帳 No. 786】

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



506

☑

low [ロウ] (⇔ high)

発音注意

Tom jumped (over) the **low** wall.

『トムはその低い壁を飛び越えました。』

※ **low** は山、建物、壁、フェンスなどが「低い」ときに使う。
「(人の)背が低い」は short を使う。→【単語帳 No. 243】

形 低い、(値段が)安い、(声・音が)小さい

副 低く

[比較変化] low - lower - lowest

名 最低記録、低いところ

a **low** price 『安い値段』in a **low** voice

『低い声で、小さい声で』

※【単語帳 No. 209 … high】も参照のこと。

This desk is too **low** for me. 『この机は私には低すぎます。』Speak in a **low** voice. 『低い[小さい]声で話さない。』

That plane is flying **low**. ※ fly **low** 「低く飛ぶ、低空飛行をする」
『あの飛行機は低空飛行をしています。』

The **low** will be 2 degrees. 『最低気温は2度でしょう。』

※ degree(s) [ディグリー] (ズ) 「(温度・角度などの)度、程度」

507

☑

tonight [トゥナイト]

副 今夜(は)

アクセント注意

名 今夜、今晩

【a をつせず、複数形にもしない】

tonight's news 『今夜のニュース』

It's very cold **tonight**. 『今夜はとても寒い。』Please wait until **tonight**. 『今夜まで待ってください。』

※「昨日の夜」は last night、「明日の夜」は tomorrow night という。

※「今日の～」に関する表現には、this morning「今朝(今日の朝)」、
this afternoon「今日の午後」、this evening「今晩(今日の夕方)」
などがあるが、「今夜(今日の夜)」は this ~ とはしない。

…「今日」を this ~ とは言わず today というのと同様。

508

☑

money [マニー]

発音注意

名 お金、貨幣、通貨

※ **money** は数えられない名詞なので、
「たくさんのお金」は much **money**,
a lot of **money** などと表す。

Time is **money**.

『時は金なり。』【ことわざ】

I have no **money** with me. 『私は(今)お金を持っていません。』
= I don't have any **money** with me.

That man wants a lot of [much] **money**.

『あの男性はたくさんのお金を欲しがっています。』

Please lend me some **money** [some **money** to me].

『私に(いくらかの)お金を貸してください。』

Save your **money**. 『お金を節約[貯金]しなさい。』

→【単語帳 No. 770 … save】

509

☑

warm [ウォーム]

発音注意

形 暖かい、温かい (⇔ cool)、心の温かい

[比較変化] warm - warmer - warmest

動 ~を暖める、温める、暖まる、温まる

warm up (~)

『~を暖める、温める、準備体操をする』

☆ 動詞の用法の例文は省略します。

It's **warm** today. 『今日は暖かいです。』

※ **warm** は hot「暑い」と cool「涼しい」のあいだをあらわす。
不快な暑さでないときには very **warm** を使うこともある。

It's getting **warmer** and **warmer**.

『(気候が)だんだん暖かくなっています。』

※ <比較級 and 比較級>「だんだん～、ますます～」

Emi has a **warm** heart. 『エミは温かい心の持ち主です。』

510

☑

cool [クール]

発音注意

形 涼しい (⇔ warm)、冷静な (= calm [カーム])

カッコいい

[比較変化] cool - cooler - coolest

動 ~を冷やす、涼しくする

It's **cool** today. 『今日は涼しいです。』

※ cold「寒い」に対して、**cool** は心地よい涼しさをあらわす。
また、**cool** には口語で「カッコいい」の意味もある。

Tom is always **cool**. 『トムはいつも冷静です。』

☆ 動詞の用法の例文は省略します。

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



515



foreign [ふォ(ー)リン]

発音注意

形 外国の、外国に関する (⇔ home, domestic)

a foreign country 『外国』

a foreign language 『外国語』

派生語: foreigner [ふォーリナ] 「外国人」

… 国籍で American などと言うほうがふつう。

Tom's father has a foreign car.

『トムのお父さんは外国車を持っています。』

I want to visit many foreign countries.

『私はたくさんの外国の国々を訪れたい。』

Emi collects foreign coins.

『エミは外国の硬貨を集めています。』

※ coin(s) [コイン(ズ)] 「硬貨、コイン」

516



important [インポータント]

形 重要な、大切な

アクセント注意

[比較変化] important - more ~ - most ~

a very important person 『重要人物、要人』

※ VIP または V.I.P. と略することもある。

English is a very important language.

『英語はとても重要な言語です。』

It's important for us to be kind to others.

『私たちにとって他の人たちに親切にすることは重要です。』

Nothing is more important than time.

『時間より[ほど]大切なものはありません。』

517



concert [カンサ〜ト]

発音注意

名 コンサート、音楽会

a rock concert 『ロックコンサート』

give a concert 『コンサートを開く[催す]』

We went to a rock concert yesterday.

『私たちは昨日 ロックコンサートへに行きました。』

The singer will give a concert next week.

『その歌手は来週コンサートを開くでしょう。』

518



problem [プラブレム]

発音注意

名 問題、難問、悩み

No problem. 『問題ありません。』

※ 「どういたしまして。」の意味にもなる。

a food problem 『食糧問題』

a traffic problem 『交通問題』

Can you solve this problem?

『あなたはこの問題を解くことができますか?』

※ solve [サルヴ] 「～を解く、解決する」

What's your problem? 『あなたの悩みは何ですか?』

problem … 解決すべき問題、重大な意味を持つ問題。

question … 質問・疑問や試験の問題などのこと。→【No. 453】

519



alone [アロウン]

発音注意

副・形 ひとりで、ひとりだけの

live alone 『1人で住む』

leave ~ alone

『～を1人にしておく/かまわずに置く』

I was alone in the room. 『私はその部屋に1人きりでした。』

My uncle lives alone. 『私のおじは1人で住んでいます。』

Leave me alone. 『私を1人にしておいて。ほっといて。』

※ 副詞 と 形容詞 の判断については、学者によっていろいろな考え方がありま。そのため、alone の品詞は、どちらかと区別せずにあらわします。

☆ alone と together は、用法に違いがあるため厳密には反意語ではありませんが、一緒に覚えてしまいましょう。

520



together [トゥゲザ]

アクセント注意

副 いっしょに、いっせいに

all together 『みんないっしょに』

get together 『集まる、～を集める』

We had lunch together.

『私たちはいっしょに昼食を食べました。』

Let's sing (all) together.

『(みんな)いっしょに歌いましょう。』

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

521
☑ dream [ドゥリーム]

名 夢

have a happy [strange] **dream**
『楽しい[不思議な]夢を見る』※ 日本語の「見る」の訳につられて
see などを使わないように注意！**dream** comes [dreams come] true
『夢が実現する』

※ come true 「実現する」

I had a strange **dream** yesterday.

『私は昨日不思議な夢を見ました。』

My **dream** is to become [becoming] an English teacher.
= I have a **dream** of becoming an English teacher.

『私の夢は英語の先生になることです。』

※ 下の英文 … of が前置詞なので、うしろには動名詞 (becoming) を使う。
前置詞のうしろに不定詞 (to become) は使えない。His **dream** came true. 『彼の夢は実現しました。』☆ **dream** には「夢を見る」の意味の **動詞** の用法もある。522
☑ far [ふアー] (⇔ near)

副 遠くに、遠くへ

はるかに、ずっと【比較級を強めて】(= much)

形 遠い

[比較変化] far - farther - farthest <距離>

[比較変化] far - further - furthest <時間・程度>

※ 内容によって比較変化が異なる。

far from ~ 『～から遠い、～どころではない』How **far** ~ ? 『どのくらい(遠く)～』**far** away 『ずっと遠くに』so **far** 『今のところ、これまでは』as [so] **far** as ~ 『～のかぎり、～まで』Is the library **far** from your school?

『その図書館はあなたの学校から遠いですか？』

How **far** is it from here to the station?

『ここから駅まではどのくらい(遠い)ですか？』

→ It's about ten kilometers. 『約10キロです。』

※ kilometer(s) [キ~~ラ~~ミタ(ズ)] 「キロメートル」My uncle lives **far** away.

『私のおじは遠くに住んでいます。』

Your bike is **far** [much] better than mine.

『あなたの自転車は私の(自転車)よりずっと良い。』

I want to visit a **far** country.

『私は遠い国を訪れたい。』

523
☑ abroad [アブ~~ろ~~ード] アクセント注意

副 外国に、外国へ、外国で

go **abroad** 『外国へ行く』 ※ to を使わない。study **abroad** 『留学する』 ※ in を使わない。※ **abroad** は副詞なので、前置詞は必要ない。a student from **abroad** 『外国からの留学生』※ この **abroad** は前置詞の目的語として
例外的に名詞のように使われている。I want to go **abroad**. 『私は外国へ行きたい。』

= I want to go to a foreign country.

※ foreign 『外国の』 **形容詞** → 【単語帳 No. 515】She is studying **abroad**. ※ 前置詞を使わない！

『彼女は外国で勉強[留学]しています。』

He is a student from **abroad** [a foreign country].

『彼は外国からの留学生です。』

524
☑ quiet [クワイエット] 発音注意

形 静かな (⇔ noisy)、おだやかな

派生語: quietly (静かに) → 【単語帳 No. 1094】

Be **quiet**, please. = Please be **quiet**.

『静かにしてください。』

The old man lived a **quiet** life.

『その老人はおだやかな生活をおくりました。』

525
☑ dear [ディア]

形 親愛なる…、…様

名 かわいい人、あなた

間 おや、まあ

同音語: deer (鹿)

Dear Mr. Brown, 『ブラウン様』 / **Dear** Tom, 『親愛なるトムへ』※ **Dear** の後ろにフルネームは用いない。文末にはコンマを使うことにも注意！Listen, **dear**. 『聞いて、あなた。』 → 【単語帳 No. 284 … listen】Oh, **dear** ! 『おや、まあ。』 → 【単語帳 No. 25 … oh】

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



526

☑ idea [アイ~~ディ~~(ー)ア] アクセント注意☑ 名 考え、アイディア
思想、概念I have no **idea**. 『わかりません。』
(= I don't know.)That's a good **idea**.
『それはいい考えですね。』
※ Good **idea**. とも言う。I have an **idea**. 『私に1つ考えがあります。』Do you have any **idea**? 『あなたは何か考えはありますか?』※ この場合には複数形の s をつけないのがふつう。any のうしろには
数えられる名詞、数えられない名詞のどちらでも使うことができる。
→【単語帳 No. 109 … any】My **idea** is very different from yours (= your **idea**).
『私の考えはあなたの(考え)とはとても異なります。』

527

☑ honest [ア~~ネ~~スト] 発音注意

☑ 形 正直な、誠実な、うそをつかない

an **honest** boy 『正直な少年』※ **honest** の語頭の発音は母音なので「1つの～、1人の～」は
a ではなく an を使う。the の場合は [ズィ] と発音する。※ 語頭の h を発音しない。hour [ア~~ウ~~ア]「時間」の h と同様。Be **honest**.

『正直でいなさい。正直になりなさい。』

I think (that) Ken is **honest**.

『私はケン正直だと思います。』

528

☑ strong [ストウ~~ろ~~(ー)ング] (⇔ weak)☑ 形 強い、じょうぶな
(味が)濃い、(酒、薬、香りなどが)強い

[比較変化] strong - stronger - strongest

a **strong** man 『強い男性、じょうぶな男』
strong coffee 『濃いコーヒー』Tom's soccer team is very **strong**.

『トムサッカーチームはとても強い。』

That man looks **strong**.

『あの男性は強そうに見えます。』

The boy is **stronger** than Ken.

『その少年はトムよりも強い。』

529

☑ front [ふ~~ら~~ント] 発音注意

☑ 名 前部、正面 (⇔ back)

☑ 形 正面の、前の、おもての (⇔ back)

the **front** of a building 『建物の正面』
in **front** of ~ 『～の正面に、～の前の』
(⇔ at the back of ~ 『～の後ろに』)
the **front** door 『正面玄関』

※ [フロント] と読まないように注意!

Let's meet in **front** of the station.

『その駅の正面で会いましょう。』

※ in [at] the **front** of ~ は「～の前の部分に」の意味になる。I sat in [at] the **front** of the bus.

『私はそのバスの前列に座りました。』

Where is the **front** door? 『正面玄関はどこですか?』

※ back【単語帳 No. 330】も参照のこと。

530

☑ chance [チャ~~ンス~~]☑ 名 機会、チャンス、見込み、可能性
偶然、運get a **chance** 『機会[チャンス]を得る』
by **chance** 『偶然に、たまたま』
(= by accident →【単語帳 No. 761】)Give me another **chance**. 『もう一度チャンスをください。』

※ another「もう1つの」→【単語帳 No. 631】

I had a good **chance** to speak English.

『私は英語を話す良い機会がありました。』

We met Emi in the park by **chance**.

『私たちは公園で偶然エミに会いました。』

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



531
 ☒ city [スイティ] ※ 複数形は cities (… y を i にかえて es をつける。country, lady などと同様)

☐ 名 市、都市

※ town より人口や規模などが
 大きい都市に使う。→ 【No. 369】

New York **city**
 (= the **city** of New York)
 『ニューヨーク市』
 sister **cities** 『姉妹都市』
city hall 『市役所、市庁舎』
 (= **City** Hall と書く)

I live in Chiba **city**. 『私は千葉市に住んでいます。』

Osaka is a big **city**. 『大阪は大都市です。』

I want to live in a **city**. 『私は都会に住みたい。』

※ live in a **city** 「都会に住む」 (⇔ live in the country 「田舎に住む」)

Kyoto is one of the oldest **cities** in Japan.

『京都は日本で最も古い都市のひとつです。』

Tokyo is one of the biggest **cities** in the world.

『東京は世界でもっとも大きい都市のひとつです。』

→ かんたん英文法【比較級】も参照のこと。

532
 ☒ tomorrow [トゥモロウ]

☐ 名 あした、あす

【a をつけず、複数形にもしない】

☐ 副 あした(は)、あす(は)

アクセント注意

tomorrow morning 『あしたの朝(に)』
tomorrow afternoon 『あしたの午後(に)』
tomorrow evening 『あしたの夕方[晚](に)』
tomorrow night 『あしたの夜(に)』
 the day after **tomorrow** 『あさって』
 ※ 以上はすべて in, on などの前置詞が必要ない。

Tomorrow is Saturday. 『あしたは土曜日です。』

Come and [to] see me **tomorrow** morning.

『明日の朝私に会いに来て。』

Please call me **tomorrow** night.

『明日の夜私に電話してください。』

Meg will come to Japan the day after **tomorrow**.

『メグはあさって日本に来るでしょう。』

See you **tomorrow**. 『(また)明日会いましょう。』

It may rain **tomorrow**.

『明日は雨が降るかもしれません。』

533
 ☒ dinner [ディナー]

☐ 名 夕食、ディナー、(1日の主な)食事

【a をつけず、複数形にもしない】

cook [make] **dinner** 『夕食を作る』
an early [a late] **dinner** 『早い[遅い]夕食』
 ※ 直前に形容詞がつくときには冠詞がつく。

※ **dinner** は1日のうちの中心となる食事を指す。
 早い時間に **dinner** を食べた場合は、その後の
 食事を supper [サパ] 「夕食」と言う。→ 【No. 1034】

We had [ate] **dinner** at seven.

『私たちは7時に夕食を食べました。』

Emi is cooking **dinner** in the kitchen now.

『エミは今台所で夕食を作っています。』

Dinner is ready. 『夕食の用意ができました。』

→ 【単語帳 No. 464 … ready】

Do your homework before **dinner**.

『夕食の前にあなたの宿題をこなさい。』

534
 ☒ feel [フィール]

☐ 動 (～を)感じる

～をさわる (= touch 【No. 887】)

活用 : felt [フェルト]

– felt – feeling

3単現形 : feels [フィールズ]

派生語 : feeling (感情、感じ、感触)
 → 【単語帳 No. 1049】

I **feel** happy [good]. 『私は幸せな[良い]気分です。』

I **feel** sick. 『私は気分が悪いです[吐き気がします]。』

How do you **feel** today? 『今日は具合はどうですか?』

I **feel** (much) better today. 『今日は(ずっと)気分が良いです。』

※ better は good の比較級形 → 【単語帳 No. 488 … better】

※ much は比較級を強める語。very は比較級の前には使えない。
 → 【単語帳 No. 39 … much】、【No. 38 … very】

I **felt** a pain in my leg. 『私は(私の)脚に痛みを感じました。』

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



- 535
 ☑ dad [ダあッド] (⇔ mom) Good morning, **Dad** [**Mom**]. 『おはよう、パパ[ママ]。』
 名 お父さん、父ちゃん、パパ **Dad** [**Mom**], I'm home. 『パパ[ママ]、ただいま。』
 【呼びかけるときなどに使う】 ※ **dad**, **mom** は口語で、子供が父親、母親に呼びかけるときによく使う。
 ふつうは固有名詞のように大文字で始め、冠詞をつけない。
- 536
 ☑ mom [マム] (⇔ dad) **daddy** [ダァディ]「お父ちゃん、パパ」、**mommy** [マァミィ]「お母ちゃん、ママ」
 名 お母さん、母ちゃん、ママ … **daddy**, **mommy** は甘えた言い方。ふつう幼児が使う。
 【呼びかけるときなどに使う】 比較 → 【単語帳 No. 166 … father】、【No. 167 … mother】
- 537
 ☑ parent [ペ(ア)レント] 発音注意 Emi lives with her **parents**.
 名 親 (⇔ child) 『エミは(彼女の)両親と住んでいます。』
 【文脈により、父か母のどちらかを指す】 Where are your **parents** now?
 ☆ **parents** [ペ(ア)れンツ] 『あなたのご両親は今どこにいますか?』
 … 複数形の s がつくと「両親」の意味になる。
- 538
 ☑ ski [スキー] Can you **ski** well? 『あなたは上手にスキーができますか?』
 動 スキーをする
 名 スキーの板
 活用 : skied [スキード]
 – skied – skiing
 3単現形 : skis [スキーズ] **~ing** 注意
 a pair of **skis** 『1組のスキー』
 ☆ スポーツとしての「スキー、スキーをすること」は **skiing** [名詞] とあらわす。
 go **skiing** 『スキーに行く』 ※ ~ing 形に注意!
 I went **skiing** in Hokkaido. 『私は北海道にスキーに行きました。』
 ※ 前置詞が to ではないことに注意! 「北海道へスキーをする」のではない。
 = I went to Hokkaido to **ski**. ※ to **ski** は不定詞の副詞用法。
 『私はスキーをするために北海道に行きました。』
 ☆ [名詞] の用法の例文は省略します。
- 539
 ☑ fly [ふライ] Most birds can **fly**. 『ほとんどの鳥は飛ぶことができる。』
 動 飛び、飛行機で行く This plane is **flying** over the clouds now.
 比較 fry [ふらい]「油で揚げる」 『この飛行機は今雲の上を飛んでいます。』
 名 ハエ Time **flies**. 『光陰矢のごとし。』【ことわざ】
 活用 : flew [ふルー] We will **fly** to China next week. ※ **fly** to ~ 「～へ飛行機で行く」
 – flown [ふロウン] – flying 『私たちは来週中国へ飛行機で行きます。』
 3単現形 : flies [ふライズ] ☆ [名詞] の用法の例文は省略します。
- 540
 ☑ thing [シング] I have a lot of **things** to do today. ※ to do は不定詞の形容詞用法。
 名 物、こと 『私には今日すべきことがたくさんあります。』
 身の回り品、持ち物 Don't say such a **thing**. 『そんなことを言わないで。』
 <things で> 事態、状況 A strange **thing** happened. 『奇妙なことが起こりました。』
 an important **thing** 『大切なこと』
 sweet [スウィート] **things** 『甘いもの』
 school **things** 『学用品』
 Things are getting better. 『状況はより良くなっています。』
 ※ get well 「(病気・具合などが)良くなる」、better は well の比較級。

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



541 station [ステーション]

名 駅、署、局

発音注意

Shinjuku **Station** 『新宿駅』
 ※ 駅名にはふつう the をつけない。
 a fire **station** 『消防署』
 a police **station** 『警察署』
 a gas [ギアス] **station**
 『ガソリンスタンド』
 ※ ガソリンスタンドは和製英語。

Let's meet in front of the **station**.

『その駅の正面で会いましょう。』

Emi went to the **station** to meet Tom.

『エミはトムを出迎えるためにその駅に行きました。』

※ meet 「～を出迎える」 (⇔ see off ～, see **代名詞** off 「～を見送る」)

Where is the nearest **station** from here?

『ここからいちばん近い駅はどこですか?』

Change trains at the next **station**.

『次の駅で電車を乗り換えなさい。』

542 class [クラス]

名 クラス(の生徒たち)、授業、学級
 階級、等級

※ 複数形は classes [—イズ]

in the same **class**
 『同じクラスに[同級生で]』
 English **class** 『英語の授業』
 between **classes** 『休み時間に』
 the first **class** 『1等、1級』

There are thirty-five students in our **class**.

『私たちのクラスには35人の生徒がいます。』

Tom and I are in the same **class**.

『トムと私は同じクラス[同級生]です。』

I like English **class** very much.

『私は英語の授業がとても好きです。』

※ この場合、**class** に複数形の(e)s をつけないのがふつう。

How many **classes** do you have on Monday?

『あなたは月曜日に何時間授業がありますか?』

→ We have six (**classes**) (on Monday).

『私たちは(月曜日に)6つ(の授業が)あります。』

543 sorry [ソーリー/サリー]

形 気の毒で、すまなく思って
 後悔して、残念で、残念ながら

I'm **sorry**. 『ごめんなさい。すみません。』
 ※ I'm を省略して **Sorry**. とも言う。
 ※ 文末をあげて読むと、『もう1度言って下さい。』の意味にもなる。
 be **sorry** to ~ 『～して残念で、
 ～して気の毒に思う』

I'm **sorry** (that) I'm late. 『遅れてごめんなさい。』

Can you come with me? 『私といっしょに来られますか?』

→ I'm **sorry**, (but) I can't. 『残念ですが、できません。』

I'm **sorry** to hear that. 『私はそれを聞いて残念です。』

☆ 相手の注意を引くときの「すみません。/失礼ですが。」は
 Excuse me. を使う。→【単語帳 No. 721 ... excuse】

We felt **sorry** for the children. ※ for 「～に対して」

『私たちはその子供たちをかわいそうに感じました。』

544 wish [ウィッシュ]

動 ～を願う、望む

名 願い、願い事、祝福のことば

活用 : wished [ウィッシュト]
 – wished – wishing

3単現形: wishes [ウィッシズ]

wish to ~ 『～することを願う』
wish for ~ 『～を願う[望む]』
 make a **wish** 『願い事をする』

Tom **wishes** to be a teacher. 『トムは先生になりたいと願っている。』
 ※ **wish** の後ろには不定詞(to ~)を使う。動名詞(~ing)は使えない。

We **wish** you a Merry Christmas. 『クリスマスおめでとう。』

We all **wish** for peace. 『私たちは皆平和を願っている。』

I made a **wish**. 『私は願い事をしました。』

Best **wishes**, = With (my) best **wishes**, 『ご多幸を祈って』
 ※ 手紙の結びに使う表現。ピリオドではなく、コンマを使う。

wish ... 実現の可能性が低いことを願うことが多い。

hope ... 実現可能なことを望むことが多い。→【単語帳 No. 348】

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



545

☑ rise [らイズ] 発音注意

動 昇る (⇔ set)、上がる (⇔ fall)

活用 : rose [ろウズ]

- risen [リズン] - rising

※ 過去形 … rose (バラ) の同音語

3単現形 : rises [ライズ]

The sun **rises** in the east. 『太陽は東から昇る。』

※ 日本語訳は「～から」だが、from ではなく in を使う。

The temperature [テンペラチャ] **rose** to 35 degrees.

『気温が35度まで上がりました。』

※ degree(s) [ディグリー(ズ)] 「(温度・角度などの) 度、程度」

The prices are **rising**. 『物価が上がっています。』

→ 【単語帳 No. 1016 … price】

※ sunrise [サンライズ] 「日の出」 ⇔ sunset [サンセット] 「日没」
 … 上記はどちらも **名詞**。【単語帳 No. 672 … sun】も参照のこと。

546

☑ set [セット]

動 ～を定める、置く、準備する
(太陽・月が) 沈む (⇔ rise)

名 一組、セット

活用 : set [セット]

- set - setting

3単現形 : sets [セツツ]

活用
注意~ing
注意a tea **set** 『紅茶の茶器セット』Tom **set** the table for dinner.

『トムは夕食のために食卓の準備をしました。』

Meg **set** the alarm [アラーム] clock for seven o'clock.

『メグは目覚まし時計を7時に鳴るようにセットしました。』

※ 上の2文はどちらも、主語が3人称・単数形だが、動詞の語尾に3単現の s がついていないので、どちらの **set** も過去形である。The sun **sets** in the west. 『太陽は西に沈む。』

※ 日本語訳では「～に」だが、to ではなく in を使う。

☆ **名詞** の用法の例文は省略します。

547

☑ yen [イエン] 発音注意

名 円 (記号は¥) 【日本の貨幣単位】

※ 単複同形なので、複数形でも s をつけない。
… Japanese, fish, sheep など同様。This bag is two thousand [2,000] **yen**.

『このバッグは2,000円です。』

That's three hundred (and) sixty [360] **yen**, please.

『360円になります。』【会計時、レジで】

※ 値段は数字であらわすこともできる。

548

☑ dollar [ダラァ] 発音注意

名 ドル (記号は\$) ※ 1ドルは100セント
【アメリカ・カナダ・オーストラリアなどの貨幣単位】seven **dollar**s (and) fifty cents 『7ドル50セント』

※ \$7.50 と書く。→ 【単語帳 No. 852 … cent】

The pen is two [2] **dollars**.

『そのペンは2ドルです。』

I paid three [3] **dollars** for the notebook.

『私はそのノートに3ドル支払いしました。』

※ yen とは異なり、複数形の s がつく。

※ 【単語帳 No. 598 … pay】も参照のこと。

549

☑ shy [シャイ]

形 恥ずかしがりやの、内気な

Tom is a **shy** boy. 『トムは内気な少年です。』Don't be **shy**. 『恥ずかしがらないで。』

550

☑ lonely [ロウンリィ] 発音注意

形 さびしい、孤独な、ひとりぼっちの

a **lonely** village 『人里はなれた村』a **lonely** island [アイランド] 『孤島』

→ 【単語帳 No. 944 … island】

I feel very **lonely**. 『私はとてもさびしく感じます。』She has been **lonely** since her husband died.

《現在完了形》

『彼女は(彼女の)夫が死んでからずっと孤独です。』

※ been は be の過去分詞 → 【単語帳 No. 180 … be】

[英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳]



551

☑ sea [スィー] **発音注意**

名 海 (⇔ land 「陸」【No. 952】)
…海

同音語: see (見る)、アルファベットの C

go to the **sea** 『海へ行く』
swim in the **sea** 『海で泳ぐ』
under the **sea** 『海底』
the Japan **Sea** 『日本海』
= the **Sea** of Japan

We go to the **sea** in summer. 『私たちは夏に海に行きます。』

※ go to **sea** とすると「船乗りになる、航海に出る」の意味になる。

They swam in the **sea** yesterday. 『彼らは昨日海で泳ぎました。』

Look at that boat on the **sea**. 『海上のあのボートを見なさい。』

Tom lives near the **sea**. 『トムは海の近くに住んでいます。』

sea … 『海』をあらわす一般的な語。

ocean … 比較的『大きい海・大洋』を指すが、**sea** の代わりとしても使われる。

→【単語帳 No. 945】

552

☑ breakfast [ブ~~レ~~ックファスト] **発音注意**

※ [ブレ~~イ~~クー] と発音しないように注意！

名 朝食【a をつけず、複数形にもしない】

have [eat] **breakfast** 『朝食を食べる』
a light **breakfast** 『軽い朝食』
※ **breakfast** の前に、形容詞がつくときは
a をつける。(lunch, dinner も同様)
→【単語帳 No. 174 … lunch】
→【単語帳 No. 533 … dinner】

I had [ate] rice and *miso* soup for **breakfast**.

『私は朝食に[として]ご飯とみそ汁を食べました。』

He had [ate] **breakfast** at seven this morning.

『彼は今朝7時に朝食を食べました。』

I usually study before **breakfast**.

『私はたいてい朝食の前に勉強します。』

Breakfast is ready. 『朝食の準備ができました。』

553

☑ hospital [ハ~~ホ~~スピトウル]

名 病院

アクセント注意

be in (the) **hospital** 『入院している』
go into (the) **hospital** 『入院する』
leave (the) **hospital** 『退院する』
※ イギリス英語ではふつう the を省略する。

Emi is in (the) **hospital** now. 『エミは今入院中です。』

I went to the **hospital** to see Tom.

『私はトムを見舞いにその病院へ行きました。』

When is she going to leave (the) **hospital**?

『彼女はいつ退院する予定ですか?』

There are two large **hospitals** in this city.

『この市には大病院が2つあります。』

554

☑ river [リ~~イ~~ヴァ]

名 川、河 **発音注意**

The Nile (**River**)
『ナイル川』
The Amazon (**River**)
『アマゾン川』
※ Amazon **アマザン**
The Tone (**River**)
『利根川』
The Shinano (**River**)
『信濃川』
☆ 川名には the をつける。
後ろにつける **River** は
省略することが多い。

Let's go swimming in the **river**. 『川へ泳ぎに行きましょう。』

Ken will go fishing in the **river**. 『ケン川へ魚つりに行くでしょう。』

※ 上の2文は、どちらも「川へ」と訳すが、前置詞が to ではないことに注意！
泳いだり、魚釣りをしたりするのは「川の中」と考えるとわかりやすい。

Can you swim across this **river**? 『あなたはこの川を泳いで渡れますか?』

※ across 「～を横切って」 →【単語帳 No. 217】

This **river** runs through Tokyo. 『この川は東京を(通って)流れています。』

The Shinano (**River**) is the longest (river) in Japan.

『信濃川は日本で1番長い(川)です。』

The Amazon (**River**) is the biggest (river) in the world.

『アマゾン川は世界最大(の川)です。』

※ 「小川」は stream [ストゥリーム] という。「(人・空気・車などの)流れ」の意味もある。

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



561

☒ pass [パース]

動 ～を手渡す、(時が)経つ
 (～に)合格する (⇔ fail)
 ～を通る、通り過ぎる

活用 : passed [パースト]

※ past (～を過ぎて) と同音語

- passed - passing

3単現形 : passes [パアスィズ]

Pass me the salt, please. 『私に(その)塩を取ってください。』

Ten years have passed since then. 『それ以来10年が経った。』

Ken passed the exam(ination). 『ケンはその試験に合格しました。』
→ 【単語帳 No. 837… exam(ination)】

Let me pass, please. 『私を通してください。』【人ごみの中などで】

pass by (～) 『(～のそばを)通り過ぎる、時が過ぎ去る』

The man passed by me. 『その男性は私のそばを通り過ぎた。』

562

☒ sun [サン] 発音注意

名 <the をつけて> 太陽
 <ふつう the をつけて> 日光、ひなた

同音語 : son (息子) → 【単語帳 No. 346】

the rising sun 『朝日』 ※ rise → 【No. 545】
 the setting sun 『夕日』 ※ set → 【No. 546】
 sit in the sun 『日なたに座る』

Look at the rising sun. 『朝日を見て。』

The sun rises in the east and sets in the west.
『太陽は東から昇り、西に沈む。』The earth goes [moves/turns] around the sun.
『地球は太陽のまわりを回る。』

The cat sat in the sun. 『そのネコは日なたに座った。』

☆ sunrise (日の出) ⇔ sunset (日没)
→ 【No. 545 ~ 546… rise, set】の説明を参照のこと。

563

☒ moon [ムーン] 発音注意

名 <the をつけて> (天体の)月

a full [half] moon 『満月[半月]』
 ※ 月は1つしかないのに、ふつうは
 the moon となるが、月の状態に
 ついて言うときには a をつける。

Look at the moon. 『月を見て。』

The moon rises in the east and sets in the west.
『月は東から昇り、西に沈む。』The moon goes [moves/turns] around the earth.
『月は地球のまわりを回る。』

There is no moon tonight. 『今夜は月が出ていません。』

564

☒ send [センド]

動 ～を送る
 (人)を行かせる

活用 : sent [セント]

- sent - sending

3単現形 : sends [センツ]

send [人] [物] = send [物] to [人] 『[人] に [物] を送る』
 ※ くわしくは、かんたん英文法【第3文型と第4文型】参照。

I sent him a letter. 『私は彼に(1通の)手紙を送りました。』

= I sent a letter to him. ※ 上が第4文型、下が第3文型の文。

send for ~ 『～を呼びに人をやる[つかわす、派遣する]』

Shall I send for help? 『助けを呼びに人をつかわしましょうか?』

565

☒ understand [アンダスタあンド]

動 (～を)理解する
 (～が)わかる

アクセント注意

活用 : understood [アンダストウッド]

- understood - understanding

3単現形 : understands [アンダスタあんツ]

I don't [can't] understand you.

『私はあなたの言うことがわかりません。』

Do [Can] you understand Japanese [me]?

『あなたは日本語[私の言うこと]がわかりますか?』

※ can は「～する能力がある」という意味を含むので、
失礼な表現になることもある。→ 【単語帳 No. 581】

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



566

☑ **against** [アゲンスト] 発音注意

☐ 前 ～に反対して (⇔ for)
～に寄りかかって、～にぶつかって

be **against** the plan 『その計画に反対で』
(⇔ be for the plan) → 【No. 46… for】
※ be … 主語と時制に応じた be 動詞を使う。

I'm **against** the plan. 『私はその計画に反対です。』

That's **against** the rule. 『それはルール違反です。』

Meg put her umbrella **against** the wall.

『メグは彼女の傘を壁に立て掛けました。』

Tom hit his head **against** the door.

『トムはドアに頭をぶつけました。』

※ 上の2文の put, hit は3単現の s がないので、過去形。

567

☑ **catch** [キアッチ]

☐ 動 ～をつかまえる
(乗り物)に間に合う (⇔ miss)
☐ 名 捕らえること

活用 : caught [コート]

– caught – catching

3単現形 : catches [キアッチス]

I'll **catch** a big fish today. 『私は今日大きな魚を捕まえます。』

Tom **caught** [took] my arm. 『トムは私の腕をつかみました。』

= Tom **caught** [took] me by the arm.

I **caught** the last train. 『私は最終電車に間に合いました。』

Let's play **catch**. 『キャッチボールをしましょう。』

catch (a) cold 『風邪をひく』 → 【単語帳 No. 176… cold】

catch the first [last] bus 『始発[最終]バスに間に合う』

play **catch** 『キャッチボールをする』 ※ 「キャッチボール」は和製英語。

568

☑ **shut** [シャット]

☐ 動 ～を閉じる、閉める
(⇔ open) (= close)

活用 : shut [シャット]

– shut – shutting

3単現形 : shuts [シャッツ]

活用
注意

~ing
注意

shut out ~ 『～をささげる、締め出す』
Shut up! 『黙れ!』 ※ とても強い表現。

Shut [Close] your notebook. 『ノートを閉じなさい。』

※ **shut** には、close より力を入れて荒々しく閉めるイメージがあるので、実際の会話では close を好む人が多い。

Ken **shut** [closed] the door. 『ケンはそのドアを閉めました。』

※ 主語が3人称単数なのに、3単現の s がついていないので、この **shut** は過去形だとわかる。

主語が3人称単数でないとき(I, They など)には、3単現の s があるかないかによって時制(現在・過去)を判断することはできないので、文脈や前後関係から判断することになる。

☆ 同意語 : close 【単語帳 No. 344】も参照のこと。

569

☑ **clock** [クロック]

☐ 名 時計【置時計や掛け時計など、携帯しないもの】
※ 「腕時計、懐中時計」は watch → 【単語帳 No. 264】

an alarm **clock** 『目覚まし時計』
o'clock [オクラック] 『～時(ちょうど)』
※ くわしくは右の説明を参照のこと。

Where is my **clock**? 『私の置き時計はどこですか?』

This **clock** is two minutes fast [slow].

『この時計は2分進んで[遅れて]いる。』

☆ o'clock は of the **clock** の短縮形で、「～時(ちょうど)、(ぴったり)～時」のときに使う。省略することも可能。
It's seven (o'clock). 『7時(ちょうど)です。』

570

☑ **table** [ティブル] 発音注意

☐ 名 テーブル、食卓、台
表、一覧表

on the **table** 『テーブルの上に』
a time **table** 『時刻表』

I want a new **table**. 『私は新しいテーブルがほしい。』

He put some books on the **table**.

『彼はテーブルの上に何冊かの本を置きました。』

※ 3単現の s がついていないので、この put は過去形。

table … 食事・会議・ゲームなどに使ったり、物を置いたりする。

desk … 勉強や事務に使い、ふつう引き出しがついている。→ 【単語帳 No. 164】

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



571

 ☒ yellow [イエロウ] 発音注意

名 黄色

(卵の) 黄身[卵黄] (⇔ white「(卵の) 白身」)

形 黄色の、黄色人種の

a yellow light 『黄色信号』

※ yellow の語頭の音は、純粋な母音ではなく y の音を含む半母音なので、不定冠詞は an ではなく a を使い、定冠詞 the はそのまま「ザ」と読む。

the yellow race [れイス] 『黄色人種』

Yellow is my favorite color.

『黄色は私の大好きな色です。』

That boy in yellow is Ken.

『黄色の服を着ているあの少年はケンです。』

My bike is yellow. 『私の自転車は黄色です。』

The leaves of the trees turned yellow.

『その木々の葉は黄色に変わりました[紅葉しました]。』

※ leaves は leaf(葉) の複数形 → 【単語帳 No. 950】

572

☒ green [グリーン]

名 緑色、(信号の) 青

形 緑色の、(信号が) 青色の

a green light 『青信号』

※ blue ではなく green を使う。

green tea 『緑茶』

I like green (the) best. 『私は緑色がいちばん好きです。』

The light changed to green. 『(その)信号が青に変わりました。』

※ blue 【単語帳 No. 67】 も参照のこと。

I want to drink green tea. 『私は緑茶が飲みたい。』

Emi bought a green dress. 『エミは緑色のドレスを買いました。』

573

☒ fish [ふィッシ]

名 魚【単複同形…複数形でも s がつかない】

※ ただし、特に種類を強調するときには fishes を使うことがある。

動 魚つりをする

活用 : fished [ふィッシト]

- fished - fishing

3単現形 : fishes [ふィッシイズ]

a fish 『1匹の魚』

ten fish 『10匹の魚』

go fishing 『魚つりに行く』

I like fish better than meat. 『私は肉よりも魚が好きです。』

 Ken caught a lot of [many] fish. ※ この fish は複数形
『ケンはいくつかの魚を捕まえました。』

I know the names of these fishes.

『私はこれらの魚の名前を知っています。』

I like fishing [to fish]. 『私は魚つりが好きです。』

Let's go fishing. 『つりに行きましょう。』

He went fishing in the river. 『彼はその川へつりに行きました。』

 ※ この場合、前置詞が to ではなく in を使うことに注意！
魚つりをするのは「川へ」ではなく「川の中」と考えるとわかりやすい。

= He went to the river to fish. ※ to fish は不定詞の副詞用法

『彼はつりをするためにその川へ行きました。』

574

 ☒ train [トゥレイン] 発音注意

名 列車、電車

by train 『列車で、電車で』

※ この用法では冠詞 (a, the) を使わない。

catch the first train

『始発電車に間に合う』

miss the last train

『最終電車に乗り遅れる[をのがす]』

change trains 『電車を乗り換える』

meet ~ on the train

『～に電車(の中)で会う』

Emi goes to school by train.

『エミは電車で学校に行きます[電車通学です]。』

Is this the train for Kyoto? 『これは京都行きの列車ですか?』

We got on [off] the train at Kobe.

『私たちは神戸でその電車に乗りました[を降りました]。』

I caught the first train. 『私は始発電車に間に合いました。』

Hurry up, or you'll miss the last train.

『急ぎなさい。そうしないと最終電車に乗り遅れますよ。』

Change trains at Nagoya. 『名古屋で電車を乗り換えなさい。』

☆ train には「～を訓練する、しつける」という意味の動詞もある。その名詞形が training「訓練、トレーニング」

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



575

☒ dress [ドゥレス] 発音注意

名 ドレス、(ワンピースの)婦人服

服装、正装【←この意味では a をつけず、複数形にもしない】

try on a **dress** 『ドレスを試着する』

wear formal **dress** 『正装[礼装]をする』

※ wear [ウェア]「～を着ている」→【単語帳 No. 576】

※ formal [フォーマル]「正式の、公式の、儀礼的な」

I bought a white **dress**.

『私は白いドレスを買いました。』

Emi has a lot of **dresses**.

『エミはたくさんのドレスを持っています。』

※ **dress** には「～に服を着せる、服を着る」の意味の動詞もある。

例 **dress** up 『着かざる、正装する』

576

☒ wear [ウェア]

動 ～を着ている、身につけている

活用 : wore [ウォーア]

– worn [ウォーン] – wearing

3単現形: wears [ウェアス]

I usually **wear** glasses. 『私はたいていメガネをかけています。』

※ 日常の習慣は現在形で表す。

He is **wearing** red shoes. 『彼は赤い靴を履いています。』

※ 進行形は、一時的に身につけていることを表す。

Meg was **wearing** a black hat and a long coat then.

『メグはそのとき黒い帽子と長いコートを身につけていました。』

wear … 身につけている《状態》をあらわす。

put on … 身につける《動作》をあらわす。

→【単語帳 No. 610 … put】

※ coat [コウト]「コート、上着」→【単語帳 No. 930】

※ 衣服・帽子以外にも、ネクタイ(tie [タイ])・靴・髪・アクセサリー
ひげ (beard [ビアド]「あごひげ」、mustache [マスタッシュ]
「くちひげ」)などを身につけているときにも **wear** を使う。

577

☒ bath [バース] ※ 複数形は baths [バースズ]

名 入浴、水浴び、ふろ場、浴室 (= bathroom [No. 762])
浴そう (= bathtub [バスタブ])

take a **bath** 『風呂に入る』→【単語帳 No. 140 … take】

Take a **bath** before you go to bed.

『(あなたは)寝る前に風呂に入りなさい。』

☆「シャワーを浴びる」… take a shower [シャウア]

I took a **bath** after dinner today.

『私は 今日夕食後にお風呂に入りました。』

578

☒ wall [ウォール] 発音注意

名 壁、塀(へい)

on the **wall** 『壁に』 / on the ceiling 『天井に』

… on は表面に接していることをあらわす前置詞。

必ずしも視覚的に「～の上」とは限らない。

→【No. 55 … on】、【No. 909 … ceiling】

Look at that white **wall**. 『あの白い壁を見て。』

There is a picture on the **wall**.

『壁に1枚の絵が掛かっている。』

Tom is standing against the **wall**.

『トムは壁に寄りかかって立っています。』

Walls have ears. 『壁に耳あり。』【ことわざ】

579

☒ example [イグザンプル] アクセント注意

名 例、実例
見本、手本

for **example** 『例えば』

This is a good **example** of an English letter.

『これは英語の手紙の良い手本です。』

Please give me an **example**. 『(私に)例を1つあげてください。』

I like sports, for **example**, baseball.

『私はスポーツが好きです。例えば野球。』

580

☒ pleasure [プレジャ]

名 喜び、満足、楽しみ

(It's) my **pleasure**. / The **pleasure** is mine. 『どういたしまして。』

※ お礼を言われたときの返答として使われる。My **pleasure**. だけでも可。

You're welcome. とほぼ同意表現。

→【単語帳 No. 225 … welcome】

with **pleasure** 『喜んで』 / for **pleasure** 『遊びのために、楽しみで』

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

581

☒ **can** [キアン (カンとも読む)] ※ 過去形は could → 【単語帳 No. 606 … could】

☞ ～できる (= *be able to*)
→ 【単語帳 No. 746 … able】
～してもよい (= *may*)

☆ **can** の否定形には3種類ある。

can not = **can't** = cannot [キァナット]
(**can** not は単語2語、
can't, cannot は単語1語)

※ **can** には「～する能力・技術がある」という意味が含まれている。

例えば、**Can** you speak English? は「あなたには英語を話せる能力がありますか?」という失礼な表現にもなりうる。

相手が英語を話せるかどうかをたずねるときには Do you speak English? のほうが好まれる。

Can [May] I help you?

『あなたを手伝ってもいいですか? /
【店員の言葉】いらっしやいませ。』
→ 【単語帳 No. 583 … may】

What **can** I do for you? 【店員の言葉】

『何を差し上げましょうか? /
ご用は何ですか?』

☆ **can** には「缶、缶詰」の意味の **名詞** の用法もある。発音は同じく [キアン]

She **can** play the piano well.

『彼女は上手にピアノをひくことができる。』

That bird **can't** [**cannot/can** not] fly.

『あの鳥は飛ぶことができません。』

Can you hear me? 『私の言うことが聞こえますか?』

Can [May] I open the window? → Yes, you **can**.

『その窓を開けてもいいですか?』『はい、いいです。』

※ May I ~ ? も同意だが、口語では **Can** I ~ ? がよく使われる。

as ~ as **one can** = as ~ as possible 『できるだけ～』

Run as fast as you **can**. 『できるだけ速く走りなさい。』

= Run as fast as possible. → 【単語帳 No. 858 … possible】

※ 「～できるでしょう」「～できるだろう」というときには will be able to ~ を使う。

(理由) **can** と will を連続して使うことはできないから。

Tom will be able to swim soon.

『トムはすぐに泳げるようになるでしょう。』

※ able [エイブル] → 【単語帳 No. 746】

☞ 「～しなければならないでしょう」「～しなければならないだろう」

… must と will も連続しては使うことができないため will have to ~ を使う。→ 【No. 588 … must】

助動詞 … 動詞に意味を付け加える働きをする。助動詞は動詞の前に使い、直後の動詞は原形にする。

疑問文では主語の前に助動詞をおく。否定文では助動詞の後ろに not や never をおく。

主語が3人称・単数で、現在形の文でも、助動詞・動詞の語尾には3単現の s または es をつけない。

※ ただし助動詞としての do, have はそれぞれ does, has になる。

その他の助動詞 → 【No. 583 … may】【No. 586 … will】【No. 588 … must】【No. 595 … shall】【No. 601 … should】

582

☒ **why** [(ホ)ワイ]

☞ なぜ、どうして

《**Why** ~ ? の答え方》

… 以下のどちらかの形で答える。

① Because + 主語 + 動詞 …
『(なぜなら)…だからです。』
(理由を答えるとき)
→ 【単語帳 No. 611 … because】

② To + 動詞の原形 …
『…(する)ためです。』
(目的を答えるとき)
※ ②は不定詞の副詞用法
→ かんたん英文法【不定詞】参照。

Why do you like English? 『あなたはなぜ英語が好きですか?』

→ Because it's interesting.

『(なぜなら)それはおもしろいからです。』

Why did you go to the park?

『あなたはなぜその公園へ行ったのですか?』

→ To play tennis. 『テニスをするためです。』

I don't know **why** Ken was late for school. 《間接疑問文》

『私はなぜケンが学校に遅れたのか知りません。』

Why don't you ~ ? 『～したらどうですか? ～しませんか?』

Why don't you join us? 『(私達に)参加したらどうですか?』

Why not? 『どうしてしないの? / したらいいじゃない。』

… 使われる場面によっては、提案・許可などの意味にもなる。

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



583

☒ **may** [メイ] ※ 過去形は might → 【単語帳 No. 1132 … might】☐ 助詞 **may** の意味の覚え方
～してもよい (= can)
～かもしれない

「助動詞 **may** の意味の覚え方」
 もしもし亀よ亀さんよ～♪ で
 『**may** かもしれない、
 してもよい～♪』と覚える。

May I come in?

『(部屋の中に)

入ってもいいですか?』

※ 英語の動詞は相手の立場になって
 使う。この場合、相手の立場では
 go ではなく come される。

☐ 例 I'm coming now.

『(あなたの所へ) 今行きます。』

May 『3月』 **名詞**

※ 月名なので M は必ずは大文字。
 → 【No. 391 … May】

May [Can] I use the pen? 『そのペンを使ってもいいですか?』

※ 口語では Can I ~? のほうがよく使われる。

→ Sure. 『もちろん。』 / Yes, please. 『はい、どうぞ。』

→ I'm sorry, you can't. 『ごめんなさい、できません。』

※ Yes, you **may**. / No, you **may** not. という答え方もあるが、
 子供や目下の人に対して使う表現なので注意!

May [Can] I help you? 【訳し方2つ】

① 『あなたを手伝ってもいいですか?』

② 『いらっしゃいます。 / 何かご用ですか?』【店員の言葉】

→ Yes, please. I'm looking for a notebook.

『はい、お願いします。私はノートを探しています。』

→ No, thank you. I'm just looking.

『いいえ、けっこうです。私は見ているだけです。』

It **may** rain tomorrow. 『明日雨が降るかもしれない。』It **may** not snow this afternoon.

『今日の午後は雪が降らないかもしれない。』

The bus **may** be late. 『そのバスは遅れるかもしれない。』

584

☒ **learn** [ラーン] **発音注意**

☐ 動 (～を) 習う、学ぶ、覚える

活用 : learned [ラウンド]

- learned - learning

3 単現形 : learns [ラーンズ]

※ イギリス英語では learnt [ラヘント]
 という過去形・過去分詞形も使う。

learn ~ by heart 『～を暗記する』
 → 【単語帳 No. 670 … heart】

I **learned** a lot of things from this book.

『私はこの本からたくさんのことを学びました。』

He wants to **learn** about the history of this town.

『彼はこの町の歴史を学びたがっています。』

We have to **learn** (that) the earth is getting warm.

『私たちは地球が温暖化していることを学ばなければならない。』

learn … 勉強や練習などによって、(受け身的に) 覚えたり、知識や技術を
 身につけること。

study … 意識的に努力して勉強や研究をすること。

study した結果が **learn** の状態になる。→ 【単語帳 No. 101】

585

☒ **everything** [エヴリシング] **アクセント注意** ※ every— の語は、語頭にアクセントがある。

☐ 代 あらゆること[もの]、すべてのこと[もの]
 ※ 3 人称・単数扱い

How's **everything** ?

『調子はどうですか? / 元気ですか?』

※ How are you (doing)? とほぼ同意。

He knows **everything**. 『彼は何でも知っています。』**Everything** is all right. 『すべて順調です。』

※ **everything** は「3 人称・単数扱い」なので、be 動詞の文では
 現在形ときには is、過去形ときには was を使う。
 一般動詞の文では 3 単現の s に注意する。

Thank you for **everything**. 『いろいろとありがとう。』I'll do **everything** to help you.

『私はあなたを助けるために何でもします。』

something (何か、あるもの) → 【単語帳 No. 621】

anything (何か、何でも) → 【単語帳 No. 628】

nothing (何もない) → 【単語帳 No. 592】

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



586

☑ **will** [ウィル] ※ 過去形は would → 【単語帳 No. 612 … would】

☐ 助詞 ～するつもり、～でしょう、～だろう
(= be going to ~)

≪短縮形≫

will not = **won't** [ウオウント]

※ 発音注意！

I **will** = I'll you **will** = you'll

he **will** = he'll she **will** = she'll

it **will** = it'll we **will** = we'll

they **will** = they'll

≪書き換え≫ **will** = be going to

※ be … be 動詞を主語と時制に
応じて使い分ける。

ほぼ同意なので、書き換えができるが
厳密には以下のような違いがある。

will … 単なる未来の予想、推測をする。

be going to … 近い将来の予定や意志、
未来の出来事に対しての
行動や兆候を示す。

It's going to rain this afternoon.
『今日の午後は雨が降りそうだ。』
※ 空模様が悪くなっている。

I'm going to catch the ball.
『私がそのボールを捕ります。』
※ 体がもう動き出している。

I **will** study English this evening.

『私は今晚英語を勉強するつもりです。』

Emi **will** come home at five.

『エミは5時に帰宅するでしょう。』

※ 主語が1人称のときは『～するつもり』、2人称・3人称の
主語のときは『～でしょう。～だろう。』と訳すのがふつう。

I **will** be fifteen (years old) next month.

『私は来月15歳になります。』

He'll be busy tomorrow. 『彼は明日忙しいでしょう。』

We'll give you this book [this book to you].

『私たちはあなたにこの本をあげます。』

※ かんたん英文法【第3文型と第4文型】も参照のこと。

Will you ~ ? 【訳し方が2つあり、どちらの表現もよく使われる。】

① 『あなたは～するつもり[予定]ですか？』

② 『～してくれますか？ / ～しませんか？』【依頼・勧誘】

①の例 **Will** you play tennis tomorrow ?

『あなたは明日テニスをするつもりですか？』

→ Yes, I **will**. 『はい、するつもりです。』

→ No, I **will not** [**won't**]. 『いいえ、しません。』

②の例 **Will** you have some coffee ?

『(いくらかの) コーヒーでもいかがですか？』

※ Would you ~ ? 「～してくださいませんか？」は
Will you ~ ? よりもていねいな疑問文になる。

☆ 「～できるでしょう、～できるだろう」→ **will** be able to ~ を使う。→ 【単語帳 No. 746 … able】

「～しなければならないでしょう [だろう]」→ **will** have to ~ を使う。→ 【単語帳 No. 588 … must】

587

☑ **turn** [ターン]

☐ 動詞 ～を曲がる、回る、めくる

☐ 名詞 回転、順番、方向転換

活用 : turned [ターンド]

– turned – turning

3単現形: turns [ターンス]

turn around

『回転する、向きを変える』

→ 【No. 644 … around】

turn on [off] ~

『(ラジオ・ガス・明かりなど)
をつくる[消す]』

No left [right] **turn**.

『左折[右折]禁止』

Turn right at the second corner. 『2つ目の角で右に曲がりなさい。』

※ **Turn** to the right ~ という表現もある。→ 【単語帳 No. 191 … right】

The earth **turns** [goes/moves] around the sun.

『地球は太陽の周りをまわっている。』

※ 不変の真理なので、時制はつねに現在形になる。

Turn to page 5. 『(ページをめくって)5ページを開きなさい。』

Please **turn on** [off] the light. 『明かりをつけて[消して]ください。』

Leaves **turns** red in fall. 『葉は秋に赤くなります[紅葉します]。』

※ leaves は leaf(葉)の複数形 → 【単語帳 No. 950 … leaf】

Turn down the TV. 『テレビの音を小さくしなさい。』

※ **turn** down ~ 「～の音量を小さくする[弱くする]、拒絶する」

Whose **turn** ? → My **turn**. 『だれの番？』『私の番よ。』

Now it's your **turn**. 『さああなたの番だよ。』

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

588

☑ **must** [マスト] ※ 過去形はないので、かわりに had to ~ [ハットゥ] を使う。→ 【No. 16 ... have】

☑ 助詞 ~しなければならない (発音注意)
(= have to [ハあふトゥ], has to [ハあストゥ])

≪書き換え≫ **must** = have [has] to
ほぼ同意の表現なので、書き換えができるが、
厳密には以下のような違いがある。

must ... 話し手の考える義務、必要、意志、
命令などを表す。

have [has] to ... 一般的な義務を表す。
must よりも穏やかな表現。

must not ~ 『～してはいけない。』

☆ 短縮形は **mustn't** [マストント] (発音注意)

≪書き換え≫

You **must not** ~ . = Don't ~ .

You **must not** swim in this river.
『この川で泳いではいけません。』
= Don't swim in this river.
『この川で泳ぐな。』

You **must** help your mother every day.
『あなたは毎日お母さんを手伝わなければなりません。』

Must I leave now? = Do I have to leave now?
『私は今[もう]出発しなければなりませんか?』

→ Yes, you **must**. 『はい、しなければなりません。』

→ No, you don't have to.
『いいえ、しなくてもいいです[する必要はない]。』
※ 否定の答えの場合、**must not** と答えないことに注意!

☆ **must** は他の助動詞とは異なり、過去形がない。
そのため「～しなければならなかった」は had to ~ を使う。
※ had to ~ は2語がつながって [ハットゥ] と発音する。

They had to go to the station.
『彼らはその駅へ行かなければならなかった。』

☆ will と **must** は前後していっしょには使えない。
そのため「～しなければならないでしょう[だろう]」は
will have to ~ を使う。 ※ will → 【単語帳 No. 586】

He will have to study math hard.
『彼は熱心に数学を勉強しなければならないでしょう。』

589

☑ **break** [ブレイク] (発音注意)

☑ 動詞 ~を壊す、骨折する
(約束など)を破る

☑ 名詞 休憩、小休止、中断

活用 : broke [ブロウク]
- broken [ブろウクン] - breaking

3単現形 : breaks [ブレイクス]

Who **broke** the window? 『だれがその窓を壊したのですか?』

Tom **broke** his right leg. 『トムは彼の右脚を骨折しました。』

She often **breaks** her word. 『彼女はよく約束を破ります。』

This cup **breaks** easily. 『このカップは壊れやすい。』
※ easily [イーズイリィ]「容易に、簡単に、楽に」→ 【No. 1059】

Let's have [take] a **break**. 『ちょっと休憩しましょう。』

break one's word [promise] 『約束を破る』 / have [take] a **break** 『小休止する、ちょっと休憩する』
a coffee **break** 『コーヒープレイク』... 仕事の合間の休憩 / a ten-minute **break** 『10分間の休憩』

590

☑ **mean** [ミーン]

☑ 動詞 ~を意味する
≪mean to ~ で≫ ~のつもりである

活用 : meant [メント]
- meant - meaning (活用注意) (発音注意)
※ 過去形・過去分詞形の発音に注意!

3単現形 : means [ミーンズ]

What do you **mean**? 『どういう意味ですか?』
I **mean** it. 『(冗談ではなく)私は本気です。』

☆ **meaning** には「意味、意義」[名詞] もある。

What does this word **mean**?
『この単語はどういう意味ですか?』

It **means** "Stop." 『それは「止まれ」という意味です。』

What do you **mean** (by that)?
『(それは)どういう意味ですか?』

I know Tom ... I **mean**, Mr. James.
『私はトム...、つまりジェームズさんを知っています。』
※ I **mean** ... 『つまり...』【訂正や補足をする時に使う】

I didn't **mean** to hurt you. → 【No. 735 ... hurt】
『私はあなたを傷つけるつもりはありませんでした。』

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



591

 each [イーチ] 発音注意

- 形 それぞれの、各…
 代 それぞれ、めいめい ※ 3人称単数扱い
 副 1人[1個]につき

each student 『それぞれの生徒』
 ※ each の後ろには《単数形の名詞》を使う。

each time 『毎回、～するたびに』
 ※ 接続詞のようにも使われる。

Each time I see Tom, ~~~.
 『私はトムに会うたびに、~~~』

each other 『おたがいに[を]』
 = one another ※ 主語には用いない。
 → 【単語帳 No. 594…other】
 → 【単語帳 No. 631…another】

each … 全体ではなく、個々に重点を置く。
 every … 個々を見ながら全体をあらわす。
 every には代名詞の用法はない。
 → 【単語帳 No. 193】

Each student wants to see you.

『どの生徒もあなたに会いたがっています。』

※ 形容詞 の **each** の後ろには《単数形の名詞》を使う。

Each boy has his own bike.

『どの少年も自分の自転車を持っています。』

※ 「どの…も～を持っている。」の文では
his [her/their] own ~ のようになる。

Each of the girls has her dictionary.

『その女の子たちはそれぞれ辞書を持っています。』

Each of us helped the old man.

『私たちのそれぞれがその老人を助けました。』

We helped **each** other. 『私たちはお互いに助け合った。』

They looked at **each** other.

『彼らはお互いに顔を見合わせた。』

※ look at ~ は連語なので、前置詞 at が必要。

The notebook is two hundred yen **each**.

『そのノートは1冊200円です。』

592

 nothing [ナッシング] アクセント注意

- 代 何も～ない
 名 ゼロ、無【aをつけず、複数形にもしない】

for **nothing** 『ただで、無料で』
 have **nothing** to do with ~
 『～と何の関係もない』

nothing but ~ 『ただ～だけ』 (= only)
 He is **nothing** but a child.
 『彼はほんの小孩にすぎない。』

nothing = not (~) anything → 【No. 628】

I have **nothing** to do today.

= I don't have anything to do today.

『私は今日することが何もありません。』

※ 口語では下の表現のほうがよく使われる。

He said **nothing**. 『彼は何も言いませんでした。』

= He didn't say anything.

Nothing is more important than health.

『健康より大切なものはない。』

I got this book for **nothing**.

『私はただでこの本を手に入れました。』

We won the game 3 to **nothing**.

『私たちは3対0でその試合に勝ちました。』

593

arrive [アライヴ]

動 到着する、着く

活用 : arrived [アライヴド]
 – arrived – arriving

3単現形 : arrives [アライヴズ]

get to ~ → 【単語帳 No. 147】

reach ~ → 【単語帳 No. 896】

※ reach の後ろには前置詞が必要ないことに注意。

arrive at [in] ~ (= get to ~, reach ~) 『～に到着する、着く』

※ せまい場所には at、広い場所には in を使うのがふつう。

ただし at, in のどちらを使うかは、話し手の感覚によって異なる。

The bus will **arrive** soon. 『そのバスはすぐに到着します。』

The train **arrived** at the station. 『その電車は駅に着いた。』

※ 駅をせまい場所としてとらえている。

We **arrived** in Tokyo at nine. 『私たちは9時に東京に着いた。』

※ 東京を広い場所としてとらえている。

That plane has just **arrived** at Narita. <現在完了形>

『あの飛行機はちょうど成田に着いたところです。』

※ Narita … この場合は成田空港を指し、1点の場所としてとらえている。

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



594



other [アザ] 発音注意

Do you have any **other** questions?

『なにか他に質問はありますか?』

形 他の、別の、もう一方の

代 他の人、他のもの

《others で》 他人、他の人々

The bank is on the **other** side of the street.

『その銀行は通りの反対側にあります。』

Tom is taller than any **other** student in our class.

『トムは私たちのクラスで他のどの生徒よりも背が高い。』

= Tom is the tallest (student) in our class.

『トムは私たちのクラスでいちばん背が高い(生徒)です。』

※ 比較級 + than any **other** … の文は、内容的には最上級を使った文と同意なので、最上級の文に書き換えができる。→ 【No. 109 … any】Be kind to **others**. 『他人[他の人々]に親切にしてください。』They helped each **other**. 『彼らはおたがいに助け合いました。』We talked with each **other**. 『私たちはおたがいに話し合った。』

※ talk with ~ は連語なので、前置詞 with が必要。

the **other** day 『先日』on the **other** hand

『他方では、もう一方では』

※ どちらも the [ずイ] と読む。

every **other** ~

『ひとつおきの～』

every **other** day 『1 日おきに』比較級(～) + than any **other** …

『ほかのどの…よりも～』

※ … には名詞の単数形を使う。

each **other** 『おたがいに[を]』

※ 主語には使わない。

→ 【単語帳 No. 591 … each】

the **other**

… 2 つあるうちの残りの 1 つ

※ the は [ずイ] と読む。

another

… いくつかある中のもう 1 つ

→ 【単語帳 No. 631】

one …, (and) the **other** ~ 『(2 つのうち) 一方は…、もう一方は～』I have two dogs. One is black, and the **other** is white.

『私は犬を 2 匹飼っています。1 匹は黒色で、もう 1 匹は白色です。』

some … (,) **others** ~ 『…するものもいれば、)～するものもいる。』Some like baseball, **others** like soccer.

『野球を好きな人もいれば、サッカーを好きな人もいる。』

595



shall [シャル] ※ 過去形は should → 【単語帳 No. 601 … should】

助 ～しましょうか? 【提案・勧誘の文で】

Shall I ~? 『(私は)～しましょうか?』**Shall** we ~? 『(私たちは)～しましょうか?』

※ 主語の訳はどちらも省略するのがふつう。

《書き換え》

Shall we ~? = Let's ~. 『～しましょう。』

※ ほぼ同意なので、書き換えができる。ただし、

Shall we ~ は疑問文なので文末に? が必要。

それに対し、Let's ~. はピリオドで終わる。

☆ **shall** には、話し手の強い意志や決意などを表す用法もある。I **shall** return. 『私は必ず戻ってきます。』※ **shall** の過去形 should について… should は過去形であるが、おもに現在形の文で使い、「～すべきである」の意味になる特殊な語。ただし、時制の一致を受けるときには **shall** の過去形としての should を使う。

→ 【単語帳 No. 601 … should】

Shall I help you? 『あなたを助けましょうか?』

→ Yes, please. 『はい、お願いします。』

→ No, thank you. 『いいえ、けっこうです。』

What **shall** I do? 『(私は)何をしましょうか?』

※ 『(私は)どうしたらいいでしょうか?』の意味にもなる。

Shall we dance? 『踊りましょうか?』

= Let's dance. 『踊りましょう。』

→ Yes, let's. 『はい、そうしましょう。』

→ No, let's not. 『いいえ、やめましょう。』

※ **Shall** we ~? / Let's ~. とともに同じ答え方をする。Where **shall** we meet? 『どこで会いましょうか?』Let's ~, **shall** we? 『～しましょうね?』Let's go shopping, **shall** we?

『買い物に行きましょね?』

※ くわしくは、かんたん英文法【付加疑問文】を参照のこと。

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



596

☑ leg [レッグ]

- ☞ 脚【もものつけ根から足首までを指すが、足首から先(foot)を含めることもある。】
(机・いすなどの)脚

Tom broke his left **leg** last month.

『トムは先月 彼の左脚を骨折しました。』

She crossed her **legs**. 『彼女は脚を組みました。』

※ cross [クロ(ー)ス]「交差させる、横切る」→【No. 919】

597

☑ shoulder [ショウルダァ] 発音注意

- ☞ 肩
【日本語の肩より広い概念、上背部全体をあらわす】

Ken put his hand on my **shoulder**.

『ケンはその手を私の肩に置きました。』

※ 3単現のsがついていないので、このputは過去形。

Emi carried the bag on her **shoulder**.

『エミはそのバッグを(彼女の)肩にかつぎました。』

598

☑ pay [ペイ] 発音注意

- ☞ (代金)を支払う、(注意)を払う
割に合う

活用 : paid [ペイド]
- paid - paying

活用
注意

3単現形: pays [ペイズ]

pay for ~ 『~の代金を支払う』
pay attention to ~ 『~に注意を払う』
pay no attention to ~ 『~に注意を払わない』
※ attention [ア**テン**ション]「注意、注目」

Tom **paid** ten dollars for the dictionary.

『トムはその辞書に10ドル支払いました。』

Pay for the book. 『その本の代金を払いなさい。』

※ 上の2文のforは「~に対して、~と交換に」の意味。

You must **pay** her 1,000 yen.

『あなたは彼女に1,000円払わなければなりません。』

※ **pay** [人][金額]の形で使う。He **paid** no attention to Meg.

『彼はメグに全く注意を払わなかった。』

This job doesn't **pay**. 『この仕事は割に合わない。』

599

☑ e-mail [イーメール] ※ - (ハイフン)が必要。

- ☞ 電子メール(Eメール)
【electronic [イ**レ**クトゥラニック] mail を短縮した語】

send (an) **e-mail** 『電子メール(Eメール)を送る』
※ 本来 e-mail は不可算名詞(数えられない名詞)だが、
可算名詞(数えられる名詞)とすることもある。
send messages by **e-mail**
『電子メール(Eメール)でメッセージ[伝言]を送る』

I sent her (an) **e-mail** yesterday.

『私は昨日 彼女に電子メールを送りました。』

Emi got (an) **e-mail** from Ken.

『エミはケンから電子メールを受け取りました。』

☆ **e-mail** を 動詞 として使うこともある。Please **e-mail** me about the news.『そのニュースについて私に
電子メールを送ってください。』

600

☑ Internet [インタネット] アクセント注意

※ 語頭のIは文中でも必ず大文字で書く。

- ☞ インターネット【the Internet で】

on the **Internet** 『インターネットで』
through the **Internet**
『インターネットを通じて』
surf [サ〜フ] the **Internet**
『ネットサーフィンをする』
※ 次々と興味のあるページを見ること。
surf [波乗り][サーフィン]をする
☆ 上記の the はすべて [ズィ] と読む。

Tom is playing games on the **Internet**.

『トムはインターネットでゲームをしています。』

We can exchange e-mail through the **Internet**.

『私たちはインターネットを通じて
電子メールを交換することができます。』

※ exchange [イクス**チェ**インチ]「~を交換する」(= change)I use a computer to surf the **Internet**.

『私はネットサーフィンをするために
コンピューターを使います。』